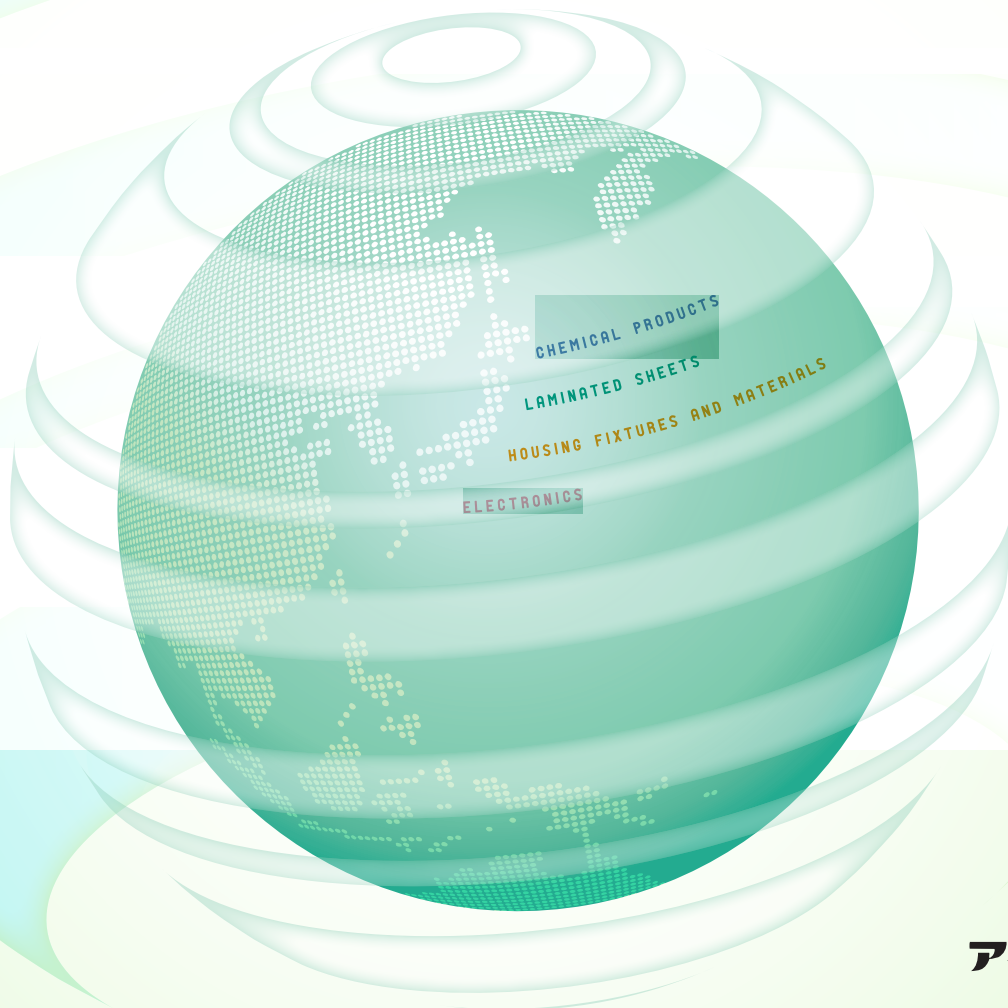


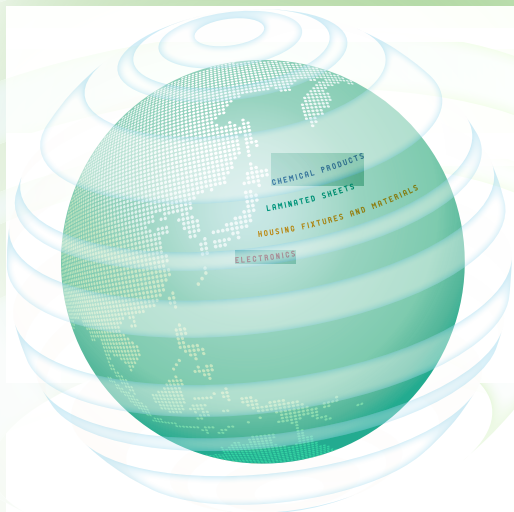
第113期 報告書

[平成24年4月1日～平成25年3月31日]



アイカ工業株式会社

証券コード 4206



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結株主資本等変動計算書／連結キャッシュ・フロー計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書	
株主資本等変動計算書	
■ 企業活動のご案内	9
■ 会社の概要	12
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第113期(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や、住宅エコポイントなどの政策効果等により、回復傾向がみられたものの、欧米市場の低迷や新興国経済の減速などにより、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。しかしながら、輸出環境の改善やデフレ脱却の期待を背景に、景気回復への期待が徐々に高まっております。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数が対前年で増加基調にあり、非住宅市場におきましても、工場、店舗などを中心に堅調に推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、顧客に密着した営業活動の強化、海外市場への取り組み強化、市場ニーズにマッチした新商品開発と機能材料事業の強化などを推進いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は101,353百万円(前連結会計年度比6.6%増)、営業利益は12,069百万円(前連結会計年度比14.2%増)、経常利益は12,640百万円(前連結会計年度比17.3%増)、当期純利益は7,633百万円(前連結会計年度比27.5%増)となりました。

今後の景気動向につきましては、欧米市場の低迷や新興国経済の減速など、景気下押しリスクが依然として残っておりますが、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効

果などを背景に景気回復へ向かうことが期待されています。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、復興需要、リフォーム・改修を含めた国内需要の取り込みと顧客基盤拡大によるシェアアップ、海外事業と機能材料事業の強化による更なる成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発を図り、持続的に事業を拡大しうる体制を構築してまいります。

当社は、海外市場への取り組み強化の一環といたしまして、平成24年8月、台湾に建築関連商品販売強化のために合弁会社「台湾愛克工業股份有限公司」を設立、同9月にはベトナムに塗床材の製造子会社「アイカベトナム社」を設立いたしました。また、平成24年10月、フィンランドの接着剤メーカーである Dynea Chemicals Oy (ダイネア社)との間で同社のアジア太平洋部門子会社の株式を取得するための株式譲受契約を締結し、同12月、Dynea Asia Pacific Holding Pte.Ltd.(現Aica Asia Pacific Holding Pte.Ltd.)の株式を取得いたしました。これらの新しい拠点においても、現地パートナーや顧客との連携を推進し、海外事業の一層の拡大を目指してまいります。

当社グループは、コンプライアンス(法令遵守)とCSR(企業の社会的責任)を重点方針に掲げ、社会から一層信頼される企業を目指し邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月



代表取締役会長

渡辺 修



代表取締役社長

小野 勇治

化成品セグメント

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤が低迷したものの、合板用・建築施工用接着剤や産業用アクリル樹脂系接着剤が順調に推移いたしました。また、新規分野として取り組んでいる自動車用向け接着剤やシリコーン樹脂系接着剤が売上を伸ばすことができました。

樹脂系商品は、塗り床材、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」、橋梁などの補修・補強材「ダイナミックレジン」が、市場の回復や改修市場への積極的な展開により売上を伸ばすことができました。

有機微粒子は、震災後の化粧品向け需要が落ち着いたことなどから、売上は減少いたしました。

このような結果、売上高は33,594百万円(前連結会計年度比3.1%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)2,471百万円(前連結会計年度比14.7%増)となりました。



ジョリパット (外装・内装仕上塗材)

物件名: OSHIKAMO
設計: 佐々木勝敏建築設計事務所
佐々木勝敏
撮影: 矢野紀行



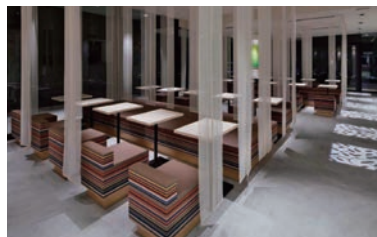
環境配慮型接着剤
Fフォースター(F☆☆☆☆)対応
アイエコエコボンド

建築材セグメント

建築材商品は、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」、0.7mmという薄さで不燃性を兼ね備えた薄物メラミン不燃化粧板「アイカフレアテクト」、耐摩耗性・耐汚染性に優れる化粧ボード「マーレスボード」など、機能性に優れた商品が好調で、医療・福祉施設、教育施設、交通施設といった公共性の高い物件や、商業施設など幅広い市場で高い評価を受け、売上を伸ばすことができました。

海外では、平成23年10月に事業買収を行ったアイカラミネーツ・インディア社の売上高が寄りました。

このような結果、売上高は29,069百万円(前連結会計年度比12.3%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)5,593百万円(前連結会計年度比13.8%増)となりました。



CELSUS (セルサス)

物件名: nana's green tea
東京ソラマチ®
施工主: 東武鉄道株式会社
設計: KAMITOPEN一級建築士事務所 吉田昌弘



AICA FLARETECT
薄物メラミン不燃化粧板 アイカフレアテクト
設計事務所: 前田建設工業株式会社
施工: 前田建設工業株式会社

住器建材セグメント

不燃化粧材「セラール」は、キッチン・洗面などの住空間向けに加え、店舗・教育施設・医療・福祉施設などの非住宅分野において、改修用途も含め幅広い需要をとらえ、順調に売上を伸ばすことができました。

メラミン化粧板を曲面加工したポストフォーム商品は、キッチン扉や店舗・オフィス用什器を中心に好調に推移し、天然水晶を原材料にした高級人造石カウンター「フィオレストーン」は、豊富なデザインや優れた機能が評価され、店舗や集合住宅のキッチン天板のカウンターとしての採用が増えました。

また、医療介護施設・高齢者住宅に適した機能引戸「UD(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」は、サービス付高齢者向け住宅の着工増と個人クリニックでの採用増により売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は33,469百万円(前連結会計年度比9.0%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)5,726百万円(前連結会計年度比16.2%増)となりました。



**UD(ユニバーサルデザイン)
コンフォートシリーズ**



Fiore Stone
(フィオレストーン)

物件名: Showroom le bain
設計事務所: 株式会社内田デザイン研究所

電子セグメント

電子材料は、光学フィルム向けUV(紫外線)硬化型ハードコート樹脂「アイカアイトロン」がタッチパネル市場の拡大とともに売上を伸ばすことができましたが、プリント配線板は、半導体関連・工作機械などの産業用途向けを中心に依然として厳しい状況で推移した結果、全体としては売上・利益ともに減少いたしました。

このような結果、売上高は5,219百万円(前連結会計年度比11.7%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)475百万円(前連結会計年度比18.2%減)となりました。



アイカアイトロン 配線板
(高速信号伝送基板)

連結決算

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	74,573	75,467
現金および預金	18,981	30,114
受取手形および売掛金	42,936	36,884
たな卸資産	9,403	5,990
繰延税金資産	1,023	919
その他	2,413	1,734
貸倒引当金	△184	△175
固定資産	44,728	27,529
有形固定資産	25,987	16,820
無形固定資産	7,565	1,184
投資その他の資産	11,175	9,524
投資有価証券	9,836	8,149
繰延税金資産	66	205
その他	1,746	1,685
貸倒引当金	△474	△516
資産合計	119,301	102,997

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	前連結会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)
売上高	101,353	95,071
売上原価	72,339	68,231
売上総利益	29,014	26,840
販売費および一般管理費	16,944	16,275
営業利益	12,069	10,564
営業外収益	956	509
営業外費用	384	302
経常利益	12,640	10,771
特別利益	—	14
特別損失	—	247
税金等調整前当期純利益	12,640	10,538
法人税、住民税および事業税	4,865	4,222
法人税等調整額	△25	213
少数株主損益調整前当期純利益	7,801	6,102
少数株主利益	168	115
当期純利益	7,633	5,986

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	31,880	25,177
支払手形および買掛金	22,074	18,237
短期借入金	858	274
未払法人税等	2,907	2,388
賞与引当金	1,524	1,307
その他	4,515	2,970
固定負債	2,415	1,628
長期借入金	422	473
繰延税金負債	712	6
退職給付引当金	403	239
その他	876	908
負債合計	34,295	26,805
純資産の部		
株主資本	80,746	75,181
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,269	13,269
利益剰余金	60,023	54,608
自己株式	△2,437	△2,588
その他の包括利益累計額	1,103	198
その他有価証券評価差額金	1,420	644
繰延ヘッジ損益	△4	△3
為替換算調整勘定	△311	△443
新株予約権	47	27
少数株主持分	3,108	785
純資産合計	85,006	76,191
負債純資産合計	119,301	102,997

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		其他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
平成24年4月1日残高	9,891	13,269	54,608	△2,588	75,181	644	△3	△443	198	27	785	76,191
連結会計年度中の 変動額												
剰余金の配当			△2,218		△2,218							△2,218
当期純利益			7,633		7,633							7,633
自己株式の取得				△2	△2							△2
自己株式の処分				153	153							153
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						775	△1	131	905	19	2,323	3,248
連結会計年度中の 変動額合計	—	—	5,414	150	5,565	775	△1	131	905	19	2,323	8,814
平成25年3月31日残高	9,891	13,269	60,023	△2,437	80,746	1,420	△4	△311	1,103	47	3,108	85,006

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

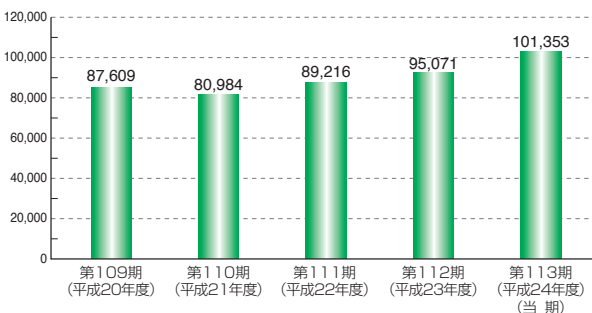
● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	前連結会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,479	8,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,312	△4,386
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,363	△2,403
現金および現金同等物に係る換算差額	64	△8
現金および現金同等物の増減額	△11,133	1,603
現金および現金同等物の期首残高	30,114	28,510
現金および現金同等物の期末残高	18,981	30,114

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

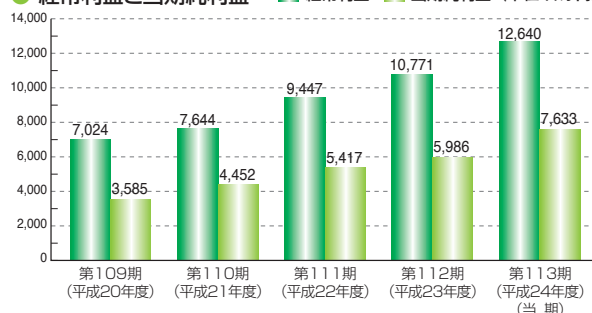
● 売上高

(単位:百万円)



● 経常利益と当期純利益

(単位:百万円)



単独決算

●貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第113期 (平成25年3月31日現在)	第112期 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	60,186	66,006
現金および預金	13,757	26,304
受取手形および売掛金	36,628	33,129
たな卸資産	4,221	3,448
繰延税金資産	871	718
その他	4,731	2,528
貸倒引当金	△24	△123
固定資産	43,527	25,625
有形固定資産	14,565	10,712
無形固定資産	423	326
投資その他の資産	28,538	14,586
投資有価証券	9,077	7,515
関係会社株式	17,731	5,183
繰延税金資産	—	147
その他	2,204	2,257
貸倒引当金	△474	△516
資産合計	103,714	91,631

科 目	第113期 (平成25年3月31日現在)	第112期 (平成24年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	25,636	22,063
支払手形および買掛金	18,689	16,683
未払法人税等	2,482	1,944
賞与引当金	1,261	1,094
その他	3,203	2,340
固定負債	1,276	1,076
長期借入金	231	473
その他	1,044	603
負債合計	26,912	23,140
純資産の部		
株主資本	75,340	67,824
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,277	13,277
利益剰余金	54,608	47,243
自己株式	△2,437	△2,588
評価・換算差額等	1,414	638
その他有価証券評価差額金	1,419	641
繰延ヘッジ損益	△5	△3
新株予約権	47	27
純資産合計	76,801	68,490
負債純資産合計	103,714	91,631

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第113期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	第112期 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)
売上高	95,491	83,799
売上原価	69,823	61,132
売上総利益	25,668	22,666
販売費および一般管理費	15,440	14,237
営業利益	10,228	8,429
営業外収益	1,177	916
営業外費用	269	454
経常利益	11,136	8,891
特別利益	2,603	9
特別損失	—	223
税引前当期純利益	13,739	8,676
法人税、住民税および事業税	4,202	3,321
法人税等調整額	△45	185
当期純利益	9,583	5,170

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)							
平成24年4月1日残高	9,891	13,277	1,622	45,620	△2,588	67,824	641	△3	638	27	68,490
事業年度中の変動額											
剰余金の配当				△2,218		△2,218					△2,218
当期純利益				9,583		9,583					9,583
自己株式の取得					△2	△2					△2
自己株式の処分					153	153					153
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)							777	△2	775	19	795
事業年度中の変動額合計	—	—	—	7,365	150	7,515	777	△2	775	19	8,311
平成25年3月31日残高	9,891	13,277	1,622	52,985	△2,437	75,340	1,419	△5	1,414	47	76,801

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) その他利益剰余金の内訳

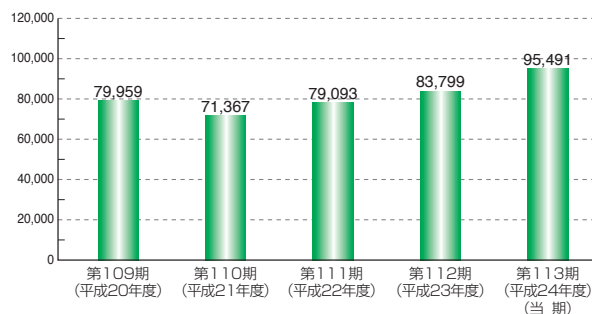
(単位:百万円)

	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成24年4月1日残高	254	16,976	28,390	45,620
事業年度中の変動額				
圧縮積立金の取崩	△0		0	—
剰余金の配当			△2,218	△2,218
当期純利益			9,583	9,583
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計	△0	—	7,365	7,365
平成25年3月31日残高	253	16,976	35,755	52,985

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

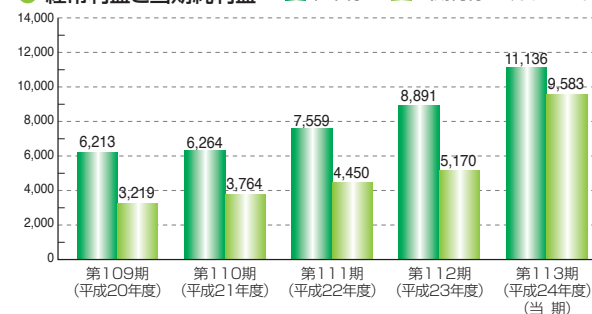
●売上高

(単位:百万円)



●経常利益と当期純利益

■経常利益 ■当期純利益 (単位:百万円)



「セラール」「アイカフレアテクト」 2012年度グッドデザイン賞受賞

不燃化粧材「セラール」と薄物メラミン不燃化粧板「アイカフレアテクト」が2012年度グッドデザイン賞を受賞しました。

— 昨年の指紋レスメラミン化粧板「セルサス」、「アイカスタイルッシュカウンターシームアンダーデザインタイプ」、昨年の「ジヨリパット」、「アイカトイレブースピュアコアタイプ」に続き3年連続の受賞となります。「セラール」は、キッチンパネルとしてだけでなく、清潔感のあるトイレや重厚感のあるオフィス、洗練されたホテルなど、さまざまな空間にあわせた豊富な色柄とテクスチャーを揃え、住空間だけでなく公共の建築など様々な空間に採用されています。

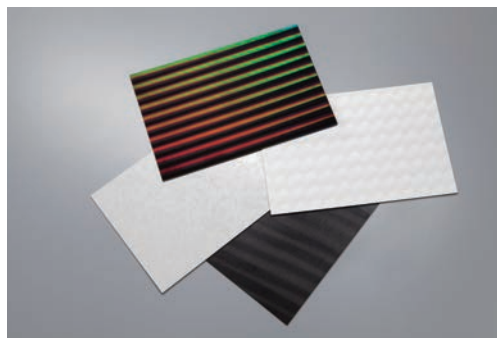
「アイカフレアテクト」は、不燃認定を取得し

た0.7mm厚のメラミン化粧板です。通常のメラミン化粧板同様、表面の耐久性、汚れへの強さに優れ、家具や什器の表面材に使用できる不燃材として評価されています。



「メラミン化粧板3D・ホログラム」

「メラミン化粧板3D・ホログラム」は、当社のコア技術である樹脂設計技術および積層技術を下地に、メラミン化粧板の表面にマイクロレベルの微細特殊加工を施すことで、立体的(3D)、およびカラフル(ホログラム)な意匠を作り出すことができました。見る角度により表情が変化し、今までにない印象的な空間が演出できます。



メラミン化粧板 バイオマスマーク認定を取得

環境への関心が高まり、地球環境に優しい商品が一層求められている中、当社の「メラミン化粧板」がメラミン化粧板としてはじめてバイオマスマークの認定を取得しました。バイオマスマークは、再生可能な生物由来の資源(バイオマス)を利用し、品質および関連法規、基準、規格等に合致した環境商品に付されるものです。

今後も事業理念である「快適、やすらぎ、環境、健康、安全など人と環境に優しい商品の提供」をさらに強化させ、環境経営を押し進めてまいります。



女性の目線から商業施設トイレ空間を演出～女性を中心にプロジェクトチームを結成

平成24年4月に結成された女性社員を中心としたプロジェクトチームでは、女性の目線から商業施設トイレ向け商品の企画・開発を行っています。

商業施設のトイレは誰もがよく利用する場所であるだけに女性のトイレ空間への要求も多様化しています。それに対応するように様々な工夫を施したトイレが作られ、徐々に広まりつつあります。

プロジェクトチームでは、各世代の女性の意見を参考に女性ならではの細やかな商品設計でトイレ空間を演出し、より使い易く、より快適な空間となるよう開発を続けています。



第59回 アイカ現代建築セミナー

講師：安藤 忠雄
講演テーマ：生き残りを賭けて
<東京会場>

日時：平成25年7月25日(木)
会場：よみうりホール
<大阪会場>

日時：平成25年7月26日(金)
会場：NHK大阪ホール



超多用途接着剤「アイカストロングル」

「アイカストロングル」は、当社独自の樹脂設計技術に基づき開発された、熱や水、紫外線などに強い高強度かつ高弾性の変性シリコーン樹脂系接着剤です。

屋内はもとより屋外でも使用でき、金属やプラスチック、ガラス、タイルなどさまざまな材料への接着に優れた効果を発揮します。また、高い弾性を有するため、冷熱繰り返しに曝される部分への接着にも適しています。



海外事業の強化

アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の株式を取得

当社は、平成24年10月、フィンランドの接着剤メーカーである Dynea Chemicals Oy (ダイネア社)との間で同社のアジア太平洋部門子会社の株式を取得するための株式譲受契約を締結し、同12月、Dynea Asia Pacific Holding Pte.Ltd.(現Aica Asia Pacific Holding Pte.Ltd.)以下、「アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社」といいます)の株式を取得いたしました。

これにより、当社グループの化成成品事業の生産・販売拠点は飛躍的に拡充されるとともに、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社が有する製造・営業・技術の人材、並びにFフォーostar (F☆☆☆☆)基準にも対応可能な建材用接着剤の海外生産体制、そしてアジア各国に確立された商品ブランドを取得することができました。

また、当社の化成成品事業とアイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社は、建築用の接着剤・樹脂において技術的に高い親和性を有しておりますが、製造・販売における地域の重複は少なく、加えて、自動車関連など非建築用途の産業用接着剤・樹脂においては、相互に異なる技術を有している等、高い補完性もあります。

今後、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社が有するアジア太平洋地域の製造・販売網を活用して同地域における当社化成成品事業の展開を加速すると同時に、同社が有する製品・技術を日本も含めて当社の製造・販売網で活用していく、あるいは、共同購買により原材料調達安定化と原価低減を図る、などの事業シナジーを追求することにより、当社グループの化成成品事業と海外事業の一層の拡大を目指してまいります。

■ アイカグループの海外拠点



会社の概要

[平成25年6月25日現在]

プロフィール

- 社 名 アイカ工業株式会社
- 本 社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電 話 052(409)8000〔案内〕
- 設 立 昭和11年10月20日
- 資 本 金 98億9,170万円
- 事 業 所

[生産拠点] 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県)

[開発拠点] R&Dセンター甚目寺研究所(愛知県)

R&Dセンター茨城研究室(茨城県)

R&Dセンター丹波研究室(兵庫県)

[営業拠点] 札幌支店 仙台支店 盛岡支店

東京支社 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

金沢支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店 岡山営業所

四国支店 福岡支店 鹿児島支店

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板

[住器建材セグメント]

室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

[電子セグメント]

プリント配線板、電子材料

■連結子会社

- [会社名] アイカインテリア工業株式会社(愛知県)
- アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)
- アイカ電子株式会社(岐阜県)
- 西東京ケミックス株式会社(東京都)
- アイカインドネシア社(インドネシア)
- テクノウッド社(インドネシア)
- 昆山愛克樹脂有限公司(中国)
- 瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)
- 愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)
- アイカ・ラミネーツ・インディア社(インド)
- アイカベトナム社(ベトナム)
- アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社(シンガポール)

取締役・監査役および執行役員

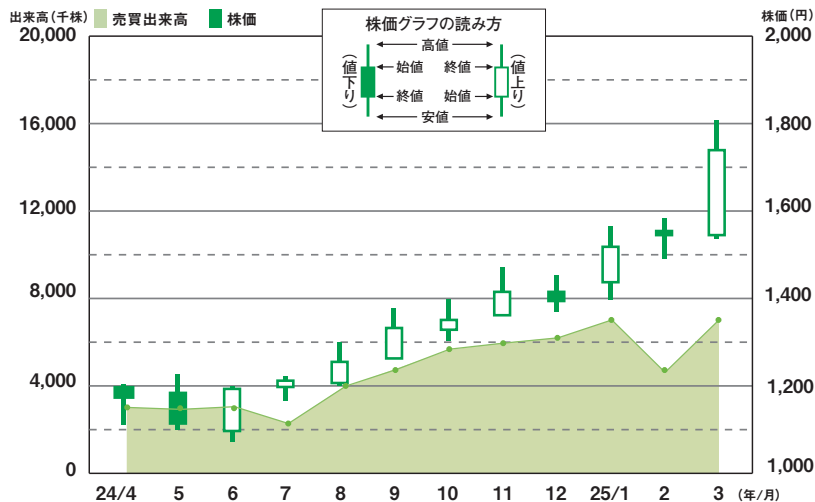
- [代表取締役会長] 渡 辺 修
- [代表取締役社長] 小 野 勇 治
- [専務取締役] 伊 東 善 光
- [常務取締役] 岩 田 照 徳
- [常務取締役] 森 永 博 之
- [取締役] 百 々 聡
- [取締役] 岩 瀬 幸 廣
- [取締役] 大 村 信 幸
- [常勤監査役] 野 田 近
- [常勤監査役] 佐 治 一 良
- ◎[監査役] 松 浦 洋
- ◎[監査役] 加 藤 正 和
- ◎[監査役] 浦 部 康 資
- [上席執行役員] 小 瀬 村 久
- [上席執行役員] 岡 田 賢 児
- [上席執行役員] 森 良 二
- [執行役員] 加 藤 義 昭
- [執行役員] 堀 田 益 之
- [執行役員] 村 瀬 元 康
- [執行役員] Per Haga(ペア ハガ)

(注)◎印は、社外監査役であります。

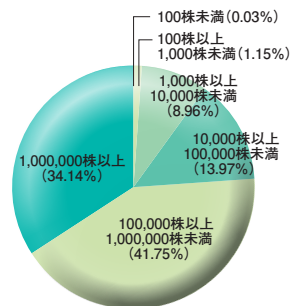
● 発行済株式の総数…67,590,664株

● 株主数…7,120名

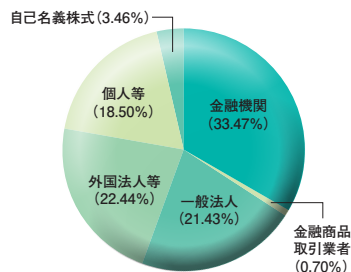
株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



[所有株数別株式分布状況]



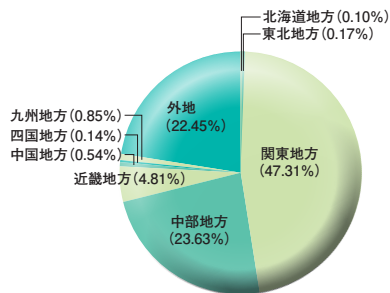
[所有者別株式分布状況]



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,813	5.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,173	4.86
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	2,245	3.44
アイカ工業取引先持株会	1,907	2.92
アイカ工業株式保有会	1,743	2.67
東京海上日動火災保険株式会社	1,552	2.38
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99
大日本印刷株式会社	1,293	1.98
電気化学工業株式会社	1,229	1.88

[地域別株式分布状況]



※当社は、自己株式2,339千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 持株比率は、自己株式2,339千株を控除して計算しております。

株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

住まい空間を演出する

AICA



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO₂は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、国連で認証された排出権（CER：インド国 Himachal Pradesh 州 Mandi 地区の水力発電事業）によりカーボンオフセットされております。

